

2022年1月31日

2022年3月期第3四半期 決算説明会

代表取締役社長
谷本 秀夫

(注)2022年3月期より事業セグメント区分を変更しています。この変更に伴い、2021年3月期以前の事業セグメントの経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

1. 2022年3月期第3四半期 決算概要

2022年3月期第3四半期累計 決算概要（1）

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計	増減金額	増減率
売上高	1,100,534	1,355,665	255,131	23.2%
営業利益	42,983 (3.9%)	118,458 (8.7%)	75,475	175.6%
税引前利益	87,216 (7.9%)	163,103 (12.0%)	75,887	87.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	63,931 (5.8%)	119,833 (8.8%)	55,902	87.4%
平均為替 レート	ドル 106円 ユーロ 122円	111円 131円	【ご参考】：2022年3月期第3四半期累計 為替変動による影響額（前年同期比） 売上高：約+470億円 税引前利益：約+150億円	

- ・売上高は、5Gや半導体市場での需要が堅調に推移し、第3四半期累計として過去最高を更新
- ・増収効果及び生産性改善により、営業利益は約2.8倍、税引前利益率は2桁に向上

注：（ ）内の数字は売上高比率

2022年3月期第3四半期累計 決算概要（2）

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計	増減金額	増減率
設備投資額	89,123 (8.1%)	102,003 (7.5%)	12,880	14.5%
有形固定資産 減価償却費	54,011 (4.9%)	65,577 (4.8%)	11,566	21.4%
研究開発費	54,242 (4.9%)	61,474 (4.5%)	7,232	13.3%

注：（ ）内の数字は売上高比率

2022年3月期第3四半期累計 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

事業セグメント別 売上高	2021年3月期第3四半期累計		2022年3月期第3四半期累計		増減金額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
コアコンポーネント	309,214	28.1%	384,331	28.4%	75,117	24.3%
産業・車載用部品	97,461	8.8%	127,534	9.4%	30,073	30.9%
半導体関連部品	193,305	17.6%	236,479	17.5%	43,174	22.3%
その他	18,448	1.7%	20,318	1.5%	1,870	10.1%
電子部品	198,903	18.1%	249,558	18.4%	50,655	25.5%
ソリューション	596,841	54.2%	722,658	53.3%	125,817	21.1%
機械工具	139,249	12.7%	184,586	13.6%	45,337	32.6%
ドキュメントソリューション	226,081	20.5%	270,152	19.9%	44,071	19.5%
コミュニケーション	164,926	15.0%	191,006	14.1%	26,080	15.8%
その他	66,585	6.0%	76,914	5.7%	10,329	15.5%
その他の事業	12,746	1.2%	20,600	1.5%	7,854	61.6%
調整及び消去	-17,170	-1.6%	-21,482	-1.6%	-4,312	—
売上高	1,100,534	100.0%	1,355,665	100.0%	255,131	23.2%

2022年3月期第3四半期累計 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

事業セグメント別 利益	2021年3月期第3四半期累計		2022年3月期第3四半期累計		増減金額	増減率
	金額	売上高比	金額	売上高比		
コアコンポーネント	19,384	6.3%	45,356	11.8%	25,972	134.0%
産業・車載用部品	1,155	1.2%	15,096	11.8%	13,941	—
半導体関連部品	19,491	10.1%	31,544	13.3%	12,053	61.8%
その他	-1,262	—	-1,284	—	-22	—
電子部品	15,979	8.0%	39,832	16.0%	23,853	149.3%
ソリューション	14,709	2.5%	53,851	7.5%	39,142	266.1%
機械工具	9,791	7.0%	21,019	11.4%	11,228	114.7%
ドキュメントソリューション	18,351	8.1%	25,304	9.4%	6,953	37.9%
コミュニケーション	6,906	4.2%	11,358	5.9%	4,452	64.5%
その他	-20,339	—	-3,830	—	16,509	—
その他の事業	-1,700	—	-10,551	—	-8,851	—
事業利益 計	48,372	4.4%	128,488	9.5%	80,116	165.6%
本社部門損益等	38,844	—	34,615	—	-4,229	-10.9%
税引前利益	87,216	7.9%	163,103	12.0%	75,887	87.0%

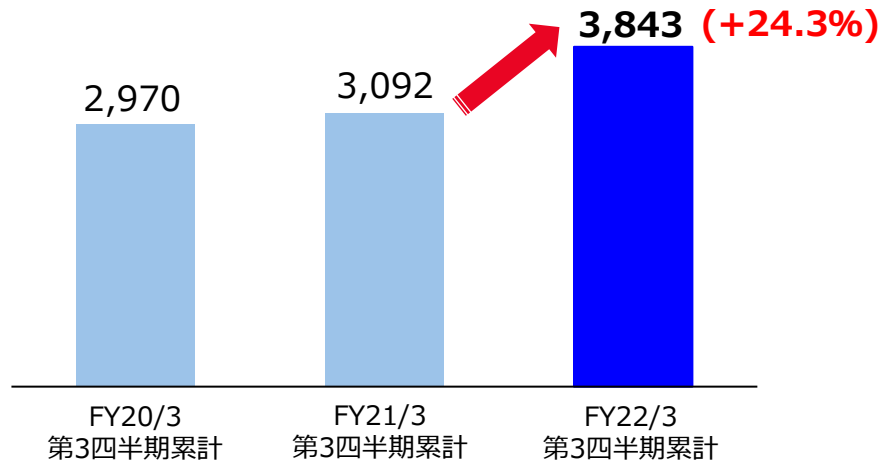
2022年3月期第3四半期累計 事業セグメント別業績

(1) コアコンポーネント

売上高

(単位：億円)

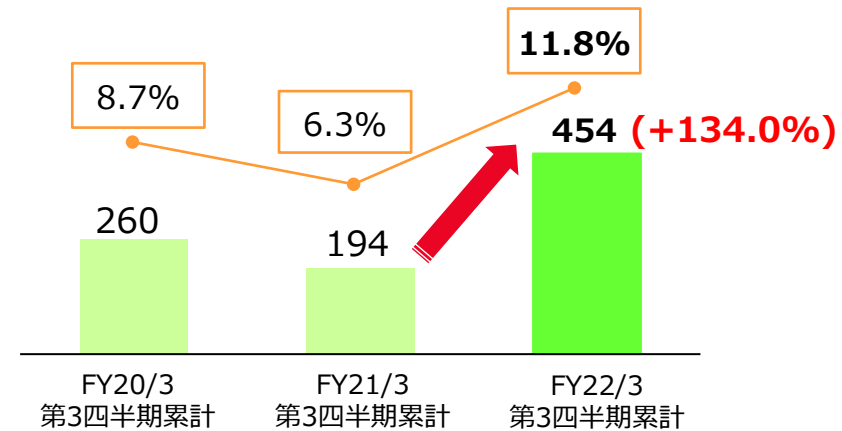
() 前年同期比増減率



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率 () 前年同期比増減率



主な増減要因

<第3四半期累計 FY22/3 vs FY21/3>

- 半導体製造装置向けファインセラミック部品の需要増 (産業・車載用部品事業)
- 5Gや自動車関連市場向けセラミックパッケージ及び有機基板の需要増 (半導体関連部品事業)

<第3四半期累計 FY22/3 vs FY21/3>

- 増収及び高付加価値製品の需要増により、増益

注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前年同期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

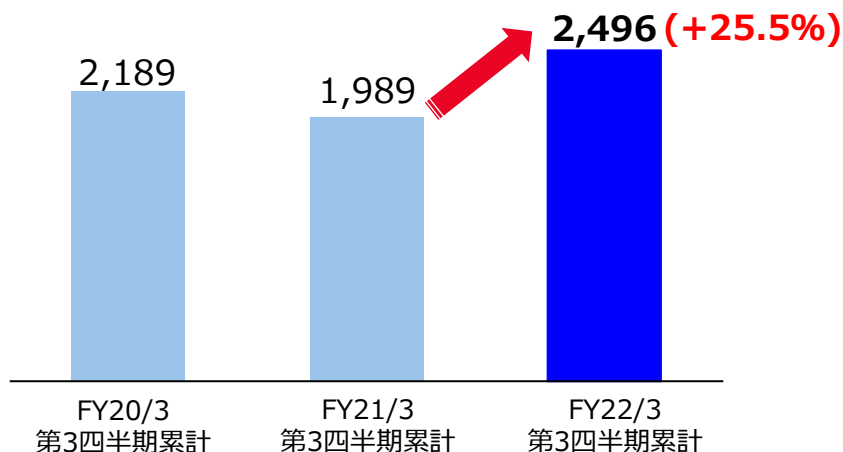
2022年3月期第3四半期累計 事業セグメント別業績

(2) 電子部品

売上高

(単位：億円)

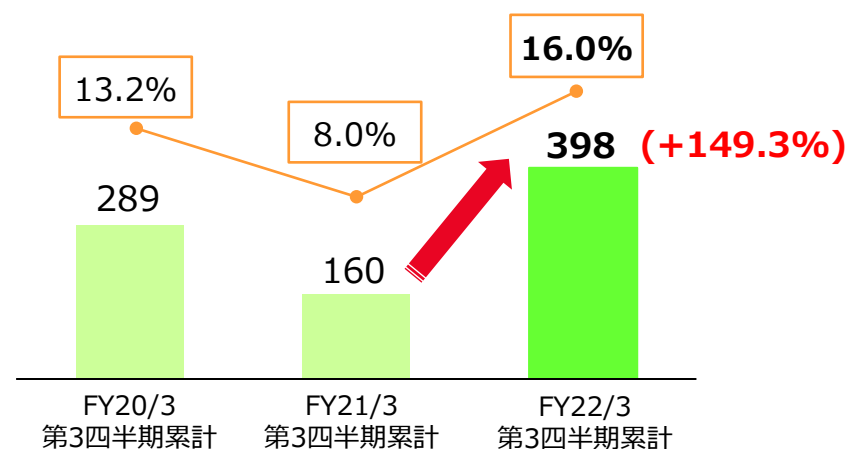
() 前年同期比増減率



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率 () 前年同期比増減率



<第3四半期累計 FY22/3 vs FY21/3>

- 自動車関連市場及び産業市場等の回復に加え、5G及び半導体関連市場での需要増により、小型大容量コンデンサや水晶部品等の需要が増加

<第3四半期累計 FY22/3 vs FY21/3>

- 増収及び高付加価値製品の需要増により、増益

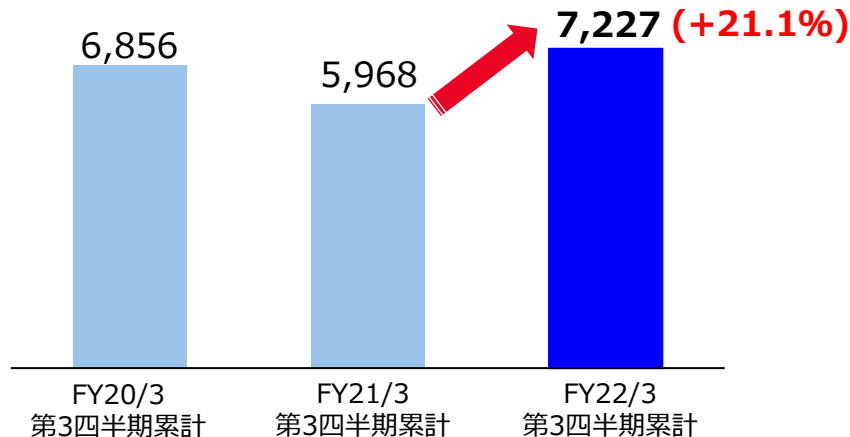
注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前年同期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

2022年3月期第3四半期累計 事業セグメント別業績 (3) ソリューション

売上高

(単位：億円)

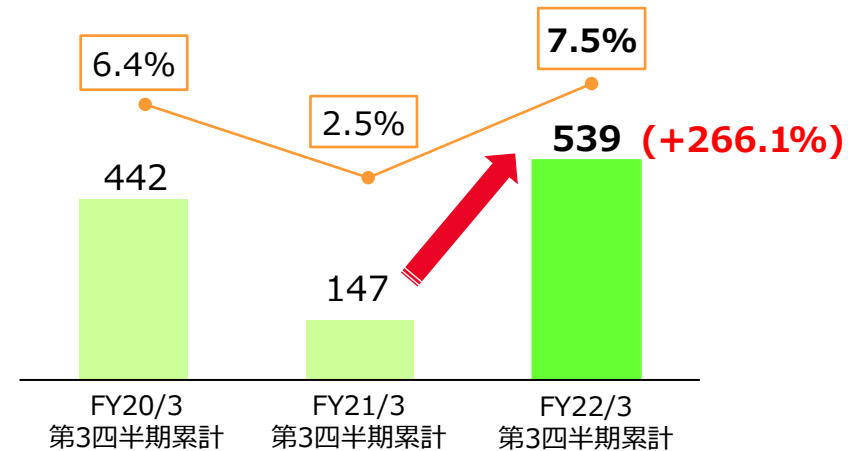
() 前年同期比増減率



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率 () 前年同期比増減率



<第3四半期累計 FY22/3 vs FY21/3>

- 切削工具及び空圧・電動工具の売上増 (機械工具事業)
- 米国を中心とした機器及び消耗品の販売回復 (ドキュメントソリューション事業)

<第3四半期累計 FY22/3 vs FY21/3>

- 増収及び、前年同期に計上したスマートエナジー事業における減損損失約115億円の影響がなくなったことにより、増益

注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前年同期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

2. 2022年3月期通期 業績予想

2022年3月期通期 業績予想 (1)

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期予想	増減金額	増減率
		11月公表数値から変更なし		
売上高	1,526,897	1,750,000	223,103	14.6%
営業利益	70,644 (4.6%)	146,000 (8.3%)	75,356	106.7%
税引前利益	117,559 (7.7%)	190,000 (10.9%)	72,441	61.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	90,214 (5.9%)	139,000 (7.9%)	48,786	54.1%
基本的EPS(円)	248.91	384.34		
平均為替 レート	ドル 106円 ユーロ 124円	110円 130円		

注1: () 内の数字は売上高比率 注2: 2022年3月期予想の基本的EPSは、2022年3月期第3四半期累計の期中平均株式数を用いて算出

2022年3月期通期 業績予想 (2)

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期予想	増減金額	増減率
		11月公表数値から変更なし		
設備投資額	117,106 (7.7%)	170,000 (9.7%)	52,894	45.2%
有形固定資産 減価償却費	73,811 (4.8%)	100,000 (5.7%)	26,189	35.5%
研究開発費	75,457 (4.9%)	90,000 (5.1%)	14,543	19.3%

注：（ ）内の数字は売上高比率

2022年3月期通期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

事業セグメント別 売上高	2021年3月期		2022年3月期予想		増減金額	増減率
	金額	構成比	11月公表数値から変更なし			
			金額	構成比		
コアコンポーネント	424,669	27.8%	481,000	27.5%	56,331	13.3%
産業・車載用部品	135,884	8.9%	163,000	9.3%	27,116	20.0%
半導体関連部品	263,595	17.3%	290,000	16.6%	26,405	10.0%
その他	25,190	1.6%	28,000	1.6%	2,810	11.2%
電子部品	273,002	17.9%	320,000	18.3%	46,998	17.2%
ソリューション	835,213	54.7%	950,000	54.3%	114,787	13.7%
機械工具	193,066	12.6%	225,000	12.9%	31,934	16.5%
ドキュメントソリューション	316,226	20.7%	360,000	20.6%	43,774	13.8%
コミュニケーション	232,739	15.2%	265,000	15.1%	32,261	13.9%
その他	93,182	6.2%	100,000	5.7%	6,818	7.3%
その他の事業	18,169	1.2%	29,000	1.6%	10,831	59.6%
調整及び消去	-24,156	-1.6%	-30,000	-1.7%	-5,844	—
売上高	1,526,897	100.0%	1,750,000	100.0%	223,103	14.6%

2022年3月期通期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

事業セグメント別 利益	2021年3月期		2022年3月期予想		増減金額	増減率
	金額	売上高比	11月公表数値から変更なし			
			金額	売上高比		
コアコンポーネント	30,549	7.2%	55,000	11.4%	24,451	80.0%
産業・車載用部品	4,241	3.1%	20,000	12.3%	15,759	371.6%
半導体関連部品	28,260	10.7%	35,000	12.1%	6,740	23.8%
その他	-1,952	—	0	0.0%	1,952	—
電子部品	23,000	8.4%	48,500	15.2%	25,500	110.9%
ソリューション	37,506	4.5%	73,000	7.7%	35,494	94.6%
機械工具	15,721	8.1%	28,000	12.4%	12,279	78.1%
ドキュメントソリューション	28,759	9.1%	33,000	9.2%	4,241	14.7%
コミュニケーション	14,597	6.3%	17,000	6.4%	2,403	16.5%
その他	-21,571	—	-5,000	—	16,571	—
その他の事業	-3,102	—	-13,000	—	-9,898	—
事業利益 計	87,953	5.8%	163,500	9.3%	75,547	85.9%
本社部門損益等	29,606	—	26,500	—	-3,106	-10.5%
税引前利益	117,559	7.7%	190,000	10.9%	72,441	61.6%

今後の事業環境見通し及び主な取り組み

足元では新型コロナウイルス感染症の再拡大等、不透明な環境にはあるものの、
中期的な成長に向けて事業機会の獲得を図る

5Gの本格始動／一層のデジタル化の進展

最先端半導体の需要増

スマートフォンの更なる高機能化

データ通信量の増加

高付加価値製品を中心に、新工場棟の建設を含めた積極的な設備投資を継続

鹿児島国分工場



完成予想図

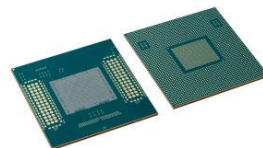
半導体製造装置用
ファインセラミック部品



京都綾部工場



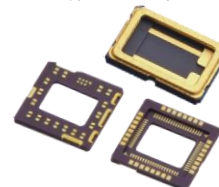
有機パッケージ



ベトナム工場



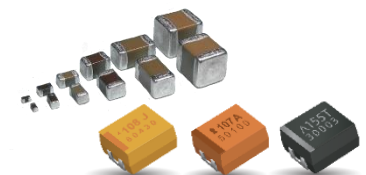
セラミックパッケージ



KAVX※ タイ工場

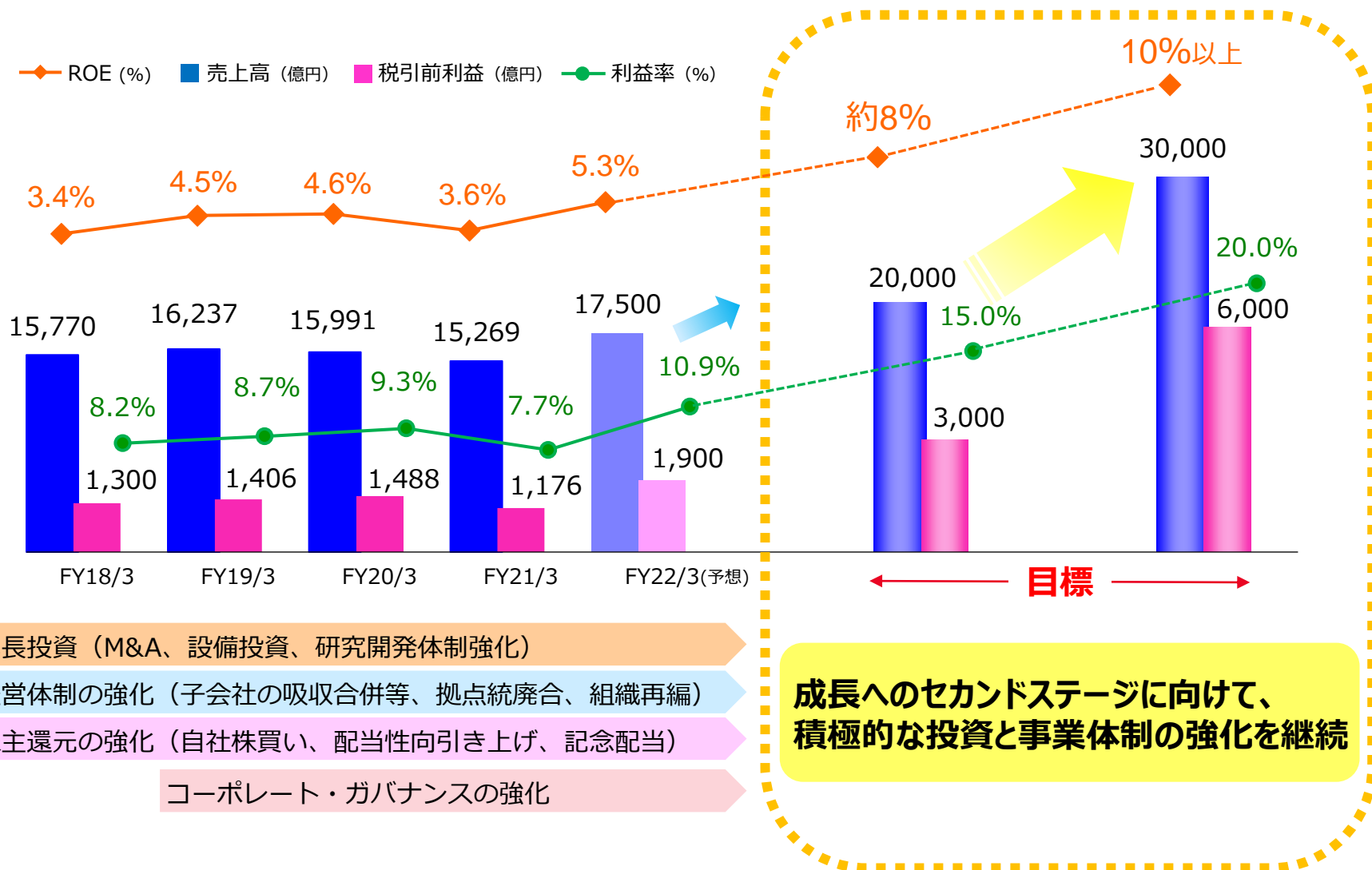


各種コンデンサ



※ KYOCERA AVX Components Corporation

業績目標

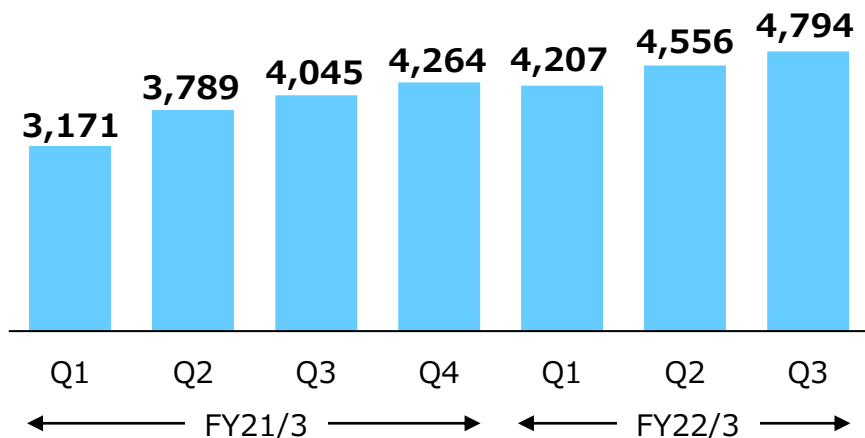


ご参考：四半期業績推移

四半期業績推移

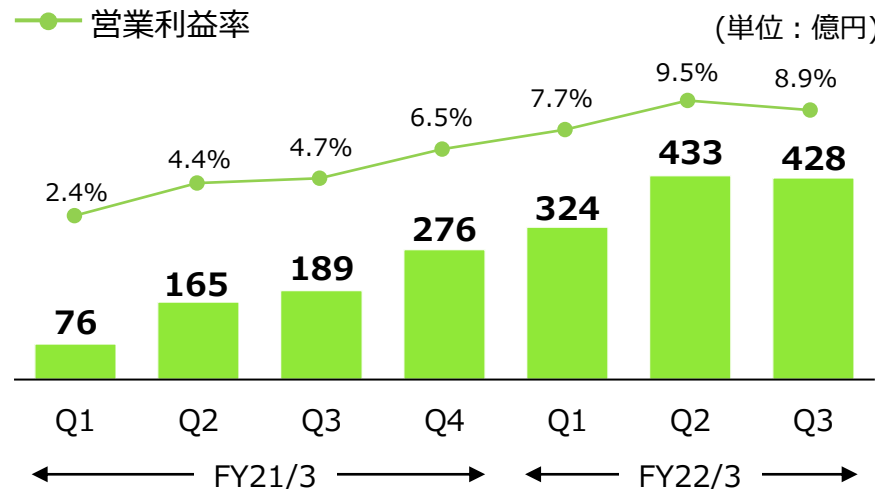
売上高

(単位：億円)



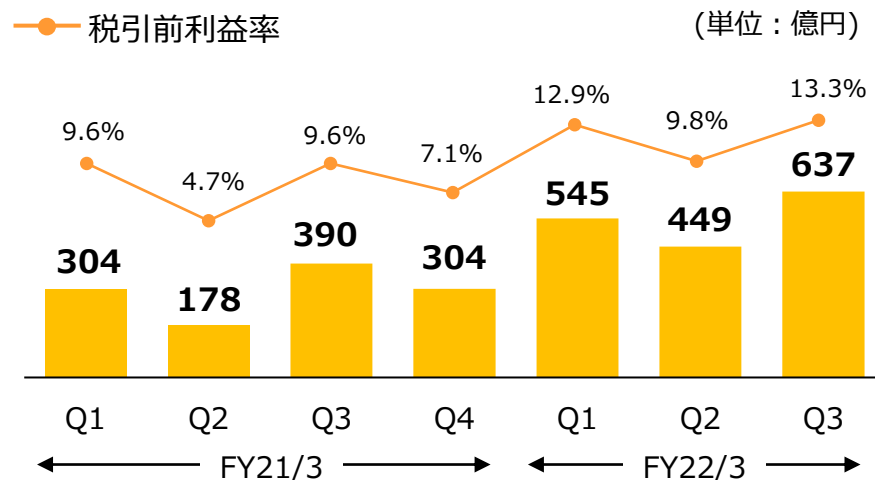
営業利益

(単位：億円)



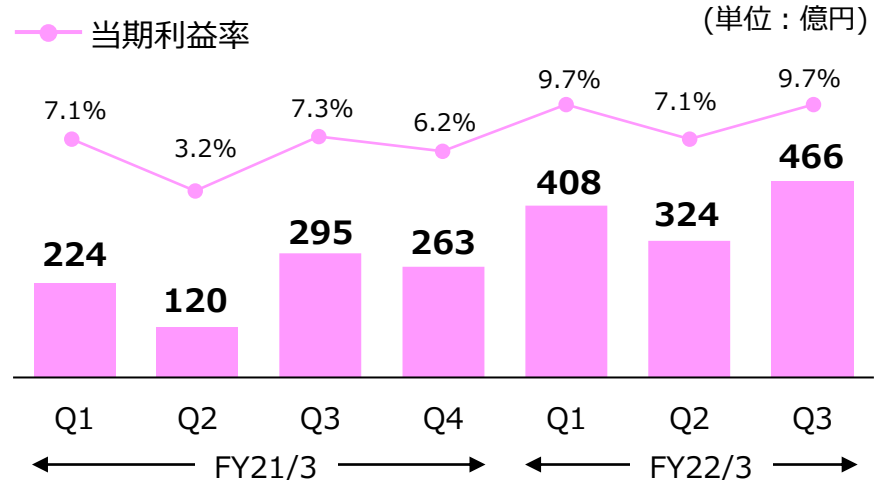
税引前利益

(単位：億円)



当期利益

(単位：億円)



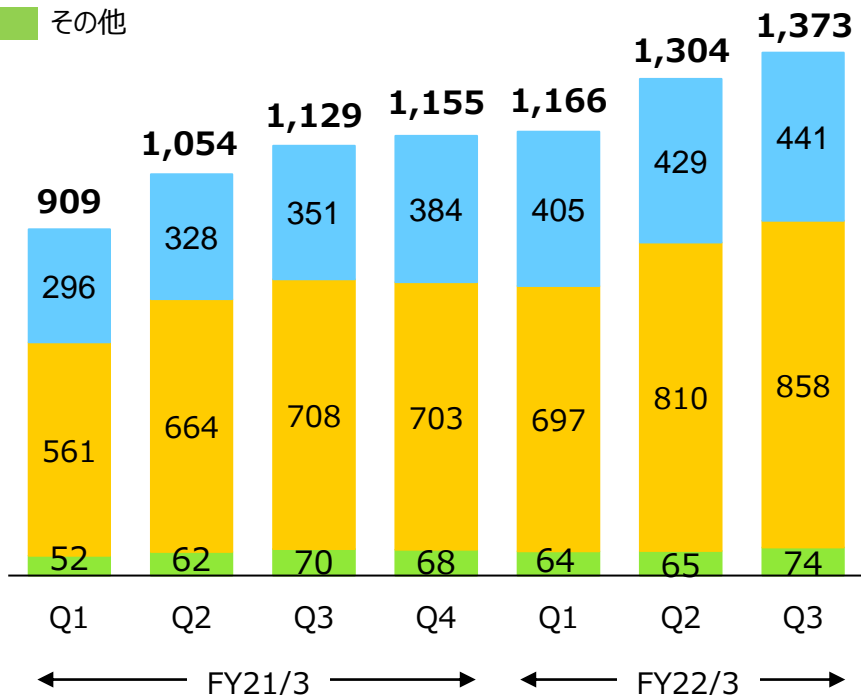
事業セグメント別 四半期業績推移

(1) コアコンポーネント

売上高

(単位：億円)

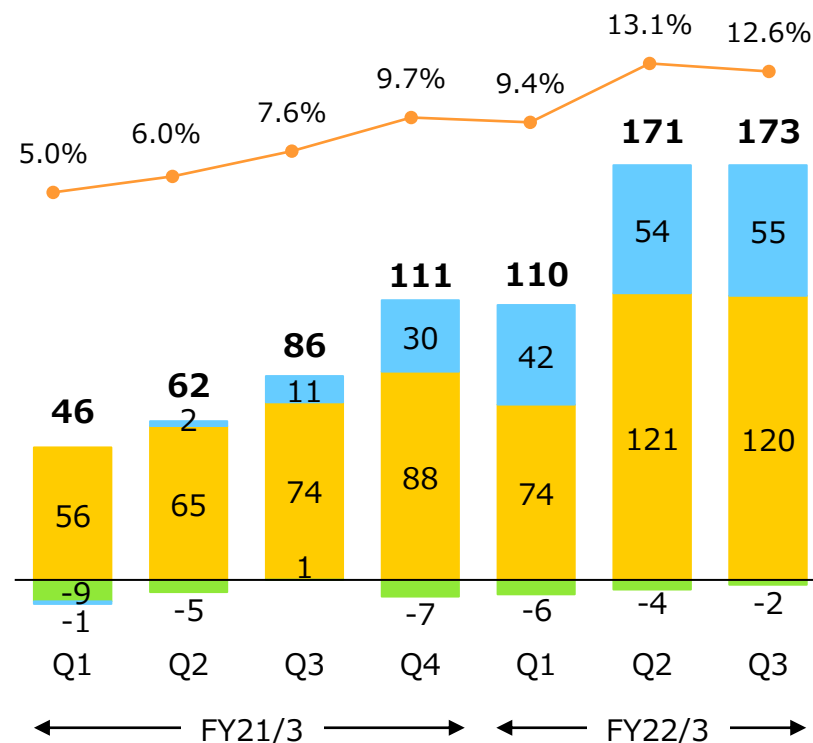
- 産業・車載用部品
- 半導体関連部品
- その他



事業利益

(単位：億円)

- 事業利益率



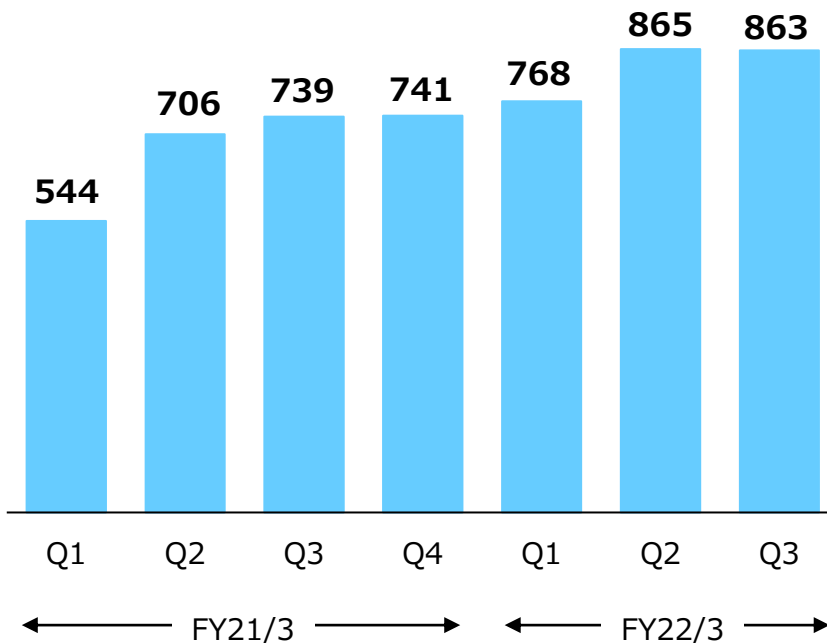
注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

事業セグメント別 四半期業績推移

(2) 電子部品

売上高

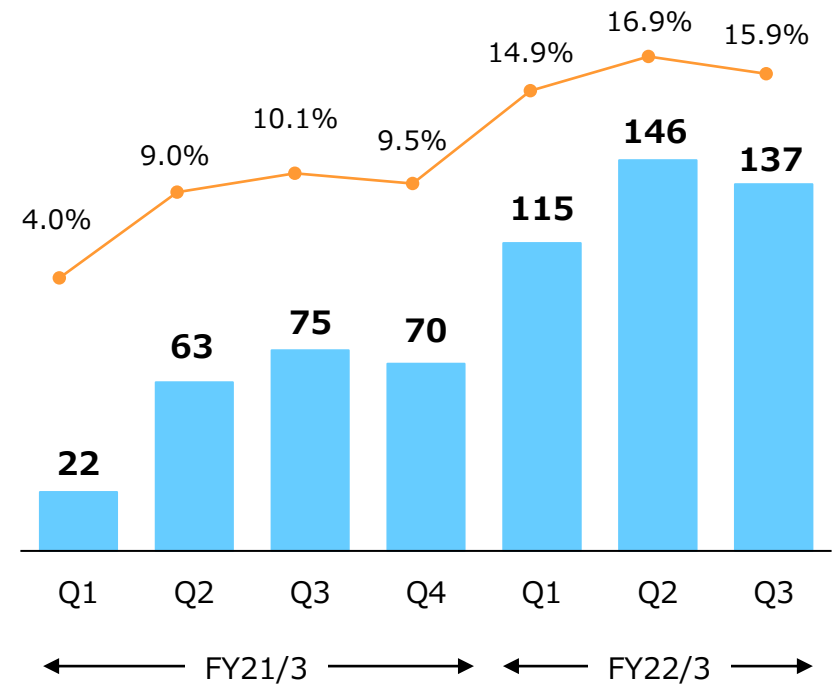
(単位：億円)



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率

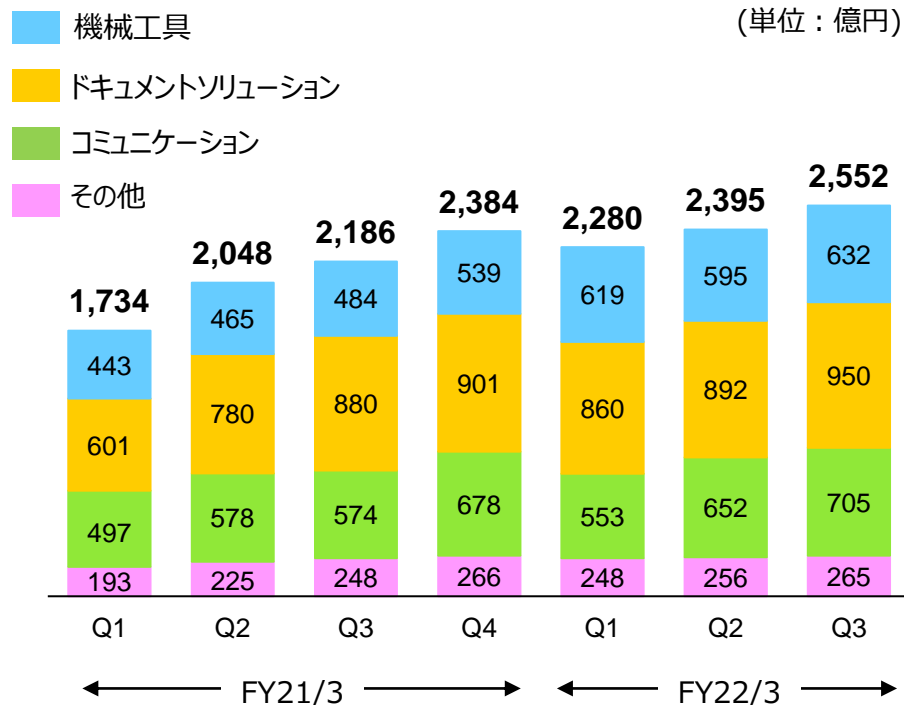


注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

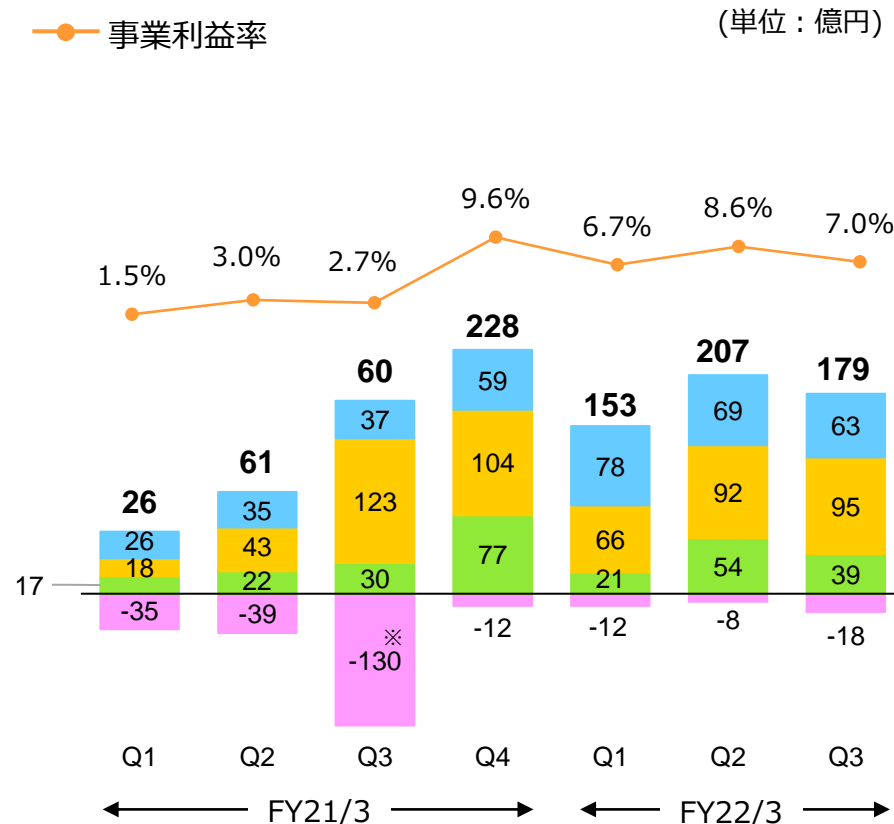
事業セグメント別 四半期業績推移

(3) ソリューション

売上高



事業利益



注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

※ スマートエナジー事業において、減損損失115億円を計上

将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ株式会社